

はつかいち福祉ねっと

取組まとめ

～平成30年度～

全 体 会

【目的など】

はつかいち福祉ねっと全体の計画・実績・方向性や地域課題、政策提言等の共有を行います。

【構成団体】

当事者・家族団体、福祉サービス事業所、医療機関、行政機関、教育機関、民生委員児童委員協議会等(約180団体・機関)

【これまでの主な取組】

- ・はつかいち福祉ねっと部会報告(取組計画・取組報告)(平成20年度～)
- ・きらりあ活動報告(平成20年度～)
- ・市の計画について
 - 「第2期廿日市市障がい福祉計画について」(平成21年度)
 - 「第3次障がい者福祉計画・第4期障がい福祉計画について」(平成26年度～)
- ・研修
 - 「やさしいまちづくり 可部での活動を通して」(平成25年度)
 - 「広島市8月20日豪雨災害を経験して」(平成26年度)
 - 「あび隊～知的障がいのある人の疑似体験～」(平成27年度)
 - 「避難行動要支援者避難支援制度について」(平成27年度)
 - 「障害者差別解消法について～法律の概要と活用のポイント」(平成28年度)
 - 「地域生活支援拠点について」(平成28年度)
 - 「みんなしあわせ～つばさという“場”から地域福祉の根っこを探す」(平成28年度)
 - 「すべての福祉の道は「地域福祉」に通ず」(平成29年度)
 - 「一般企業における障がい者雇用について」(平成29年度)
- ・障がい者スポーツ体験(平成25年度)
- ・ステージ発表(平成24年度～)
- ・事業所・団体紹介(平成27年度～)
- ・事業所製品の販売・展示(平成27年度～)

【平成30年度 取組計画】

- ①平成29年度相談支援実績報告
- ②はつかいち福祉ねっとの取組報告、計画共有
- ③第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画推進
第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組
- ④ステージ発表、事業所紹介、事業所製品の販売・展示

【平成30年度 取組報告】

年2回(7月6日、2月15日)全体会を開催し、多くのみなさんとはつかいち福祉ねっとの取組などについて共有しました。

7月の全体会では、市障害福祉課から7月に施行された「廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」の策定経緯や概要説明があり、その他今後廿日市市でも取り組んでいく医療的ケア児に対する支援体制整備に向け、「広島市における医療的ケア児を地域で支援するための協議の場の設置状況について」(講師:広島市健康福祉局障害福祉部障害自立支援課職員、三篠会 重症児・者福祉医療施設鈴が峰職員)というテーマで研修を行いました。また、お昼休憩には、パン、コーヒー、クッキー他事業所製品の販売・展示を行いました。

2月の全体会は、いつもは当事者の方から歌や音楽、寸劇などを披露していただいているステージ発表の時間を使い、手話教室を企画し、あいさつや簡単な手話を実際にみんなで体験してみました。研修は、「発達障がい」(講師:廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ橋恵さん)をテーマに企画しました。

今後もみなさんとお互いの取組を確認し合いながら、地域課題の解決に向けて取り組んでいきたいと思っております。



全体会の様子

部会代表者会議

【目的など】

専門部会(障がい別会議・課題別会議)の代表者を構成員とし、はつかいち福祉ねっとの取組全般に関する情報共有や必要事項の協議を行う。

【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④こども部会⑤わかりやすい情報部会(わかりやすい情報発信プロジェクト、手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト)⑥就労支援部会(福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング)⑦発達支援部会⑧地域生活支援部会(長期入院解消プロジェクト、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト)⑨相談支援部会⑩学習・啓発部会(権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング、“発達障害啓発週間”ワーキング)

【平成30年度 取組計画】

- ①年間4回の会議開催
- ②はつかいち福祉ねっとの取組全般に関する情報共有や必要事項の協議

【平成30年度 取組報告】

年4回(5月17日、6月28日、11月15日、2月7日)開催しました。各部会の取組状況を共有しながら、全体会など福祉ねっとの運営全般に関わること等について協議しました。



会議の様子

計画推進会議

【目的など】

「廿日市市障がい者計画・廿日市市障がい福祉計画・障がい児福祉計画」をPDCAサイクルで推進するために、地域課題やはつかいち福祉ねっとでの取組について協議を行う。

【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④こども部会⑤わかりやすい情報部会(わかりやすい情報発信プロジェクト、手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト)⑥就労支援部会(福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング)⑦発達支援部会⑧地域生活支援部会(長期入院解消プロジェクト、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト)⑨相談支援部会⑩学習・啓発部会(権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング、“発達障害啓発週間”ワーキング)

【平成30年度 取組計画】

- ①年間2回の会議開催
- ②「第3次廿日市市障がい者計画」「第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画策」をPDCAサイクルで推進するための協議(地域課題の抽出・はつかいち福祉ねっとでの取組整理)

【平成30年度 取組報告】

年2回の会議では各部会での取組や地域課題などの共有を行いました。会議では、「第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画」の進捗状況について市から報告を受け意見交換などを行いました。



身体障がい部会

【目的など】

当事者・家族・支援者が定期的に集まり、障がいのある人の困りごと等様々な意見を汲み上げ、解決策を検討しています。

また、みんなでスポーツを楽しんだり、安心して外出できる街づくりのための取組も行っています。

【これまでの主な取組】

- ・おりづる出前教室
健康づくり講演・料理教室・レクスポなど(平成22年度～)
- ・まち点検実施
廿日市市役所駅前～JR宮内串戸～阿品駅周辺点検
宮島口駅周辺点検
宮島点検 ※廿日市市障害者福祉協会「宮島安心ガイドマップ」作成に協力、広電廿日市駅及びJR廿日市駅周辺地区整備、平良市民活動センターリニューアル、JR大野浦駅周辺地区整備に向け廿日市市担当課と意見交換
JR廿日市駅点検(平成23度～)
- ・廿日市市障がい者計画・廿日市市障がい福祉計画・廿日市市障がい児福祉計画策定、推進に向けた取組(平成26年度～)
- ・あいプラザ消防訓練に参加(平成27年度～)
- ・“障害者週間”イベント(ゆめタウン廿日市)に参加(平成27年度～)

【構成団体】

- ①廿日市市障害者福祉協会②大野障害者団体連絡協議会③廿日市市障害者団体連絡会④視覚障害者の会「椿会」⑤全国障害者問題研究会廿日市サークル⑥佐伯地区ろうあ協会廿日市支部⑦広島ひかり園家族会⑧広島ひかり園⑨日本頸髄損傷LifeNet⑩広島県難聴者・中途失聴者団体連絡会廿日市支部

【平成30年度 取組計画】

- ①まち点検：宮島地域拠点施設とおもてなしトイレに関する意見交換
JR廿日市駅、JR大野浦駅周辺
- ②おりづる出前教室：7月24日(火)レクスポ(広島ひかり園)
- ③防災(啓発活動・避難訓練)
- ④“障害者週間”を活用しての啓発活動
- ⑤第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画推進

【平成30年度 取組報告】

まち点検として、新しくなったJR廿日市駅・JR大野浦駅を見て回りました。市の障害福祉課と施設整備課の職員さんが同行して下さり、改良点などについて説明もしていただきました。施設が新しくできる度に、よりよくなっていることを痛感し、大変うれしく思いました。また、宮島地域拠点施設とおもてなしトイレに関する意見交換も行いましたので、完成後の見学を今から楽しみにしています。

おりづる出前教室は、広島ひかり園で開催しました。広島ひかり園の入所者と通所者、在宅で生活する障がいのある方がいっしょに、レインボーマットシュート、野球盤、ビーンボウリング、スロービーなどのレクリエーションスポーツを楽しみました。

その他、今年度は他の障がい別会議のみなさんといっしょに、防災プロジェクトや“障害者週間”ワーキング、手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクトなどなど、多くの活動に参加をし、とても忙しく充実した1年となりました。



まち点検



おりづる出前教室



知的障がい部会

【目的など】

家族会や本人・家族を支援している事業所が集まり、個人や一団体だけでは解決できない地域課題を共有し、行政や関係団体と連携しながら、その課題解決に向けて取り組んでいます。部会内の情報交換や学習会等の実施により、団体間の親睦も深まっています。

【これまでの主な取組】

- ・アンケート(生活の場、ショートステイ等に関するニーズの把握)実施(平成20年度)
- ・リーフレット「なってください!サポーターに」作成(こども部会と共同)(平成20年度)
- ・「サポートファイル学習会」(こども部会・発達支援部会と共同)(平成22年度)
- ・おりづる出前教室「ゆるゆるビクス」「レクスポ」など(平成23年度～)
- ・「東日本大震災被災体験講演」(平成24年度)
- ・「要援護者避難支援制度学習会」(平成25年度)
- ・障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関の情報収集(平成27年度～)
- ・地域生活支援拠点に関する情報収集、学習(平成27年度)
- ・あいプラザ消防訓練に参加(平成27年度～)
- ・就労に関する学習(平成28年度)
- ・学習「障害福祉サービス」「特殊詐欺等」(平成29年度)

【構成団体】

- ①ピクトハウス家族会
- ②友和の里保護者会(通所部)
- ③友和の里保護者会(入所部)
- ④廿日市市手をつなぐ育成会
- ⑤くさのみ作業所家族会
- ⑥障害者施設・原家族会
- ⑦おのおの手をつなぐ育成会
- ⑧ファミリーレ
- ⑨虹の会
- ⑩くさのみ作業所
- ⑪ピクトハウス
- ⑫友和の里
- ⑬アダージョ
- ⑭障害者支援施設原
- ⑮大野ふれあい生活介護事業所
- ⑯あおぞら
- ⑰あうるワークスペース
- ⑱リバティーはつかいち
- ⑲おのおの(仮)

【平成30年度 取組計画】

- ①おりづる出前教室「ゆるゆるビクス」開催(3月9日(土)障害者支援施設原体育館)
- ②事業所見学
- ③あいプラザ消防訓練参加
- ④障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関情報収集
- ⑤学習「障がい福祉サービス(介護保険移行)」「当事者・家族のお金の使い方・残し方」「防災」等
- ⑥情報交換(家族団体グループ、事業所グループ)
- ⑦第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画推進

【平成30年度 取組報告】

新たな事業所に加わってもらい、総勢29人の部会となりました。

例年取り組んでいる「おりづる出前教室」「事業所見学(あおぞら・あうるワークスペース)」「あいプラザ消防訓練参加」「障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関情報収集」「情報交換(家族団体グループ、事業所グループ)」に加え、「障がい福祉サービス(介護保険移行)」の学習会、防災に関する情報交換等を行いました。

「障がい福祉サービス(介護保険移行)」の学習会では、市障害福祉課の職員さんから、介護保険の基礎知識や障害福祉サービスから介護保険への移行の流れ・対象者・利用料の仕組みなどを教えていただき、参加者のみなさんからは「今後も第2弾、第3弾の学習会を行ってほしい」との声が出ました。

防災や親亡き後のことなどへの関心が高く、活発に意見を出し合いながら取組をすすめました。



毎月1回の定例会



おりづる出前教室(ゆるゆるビクス)

精神障がい部会

【目的など】

廿日市市の精神障がいのある人やご家族が安心して地域生活を送るために、当事者・ご家族・支援者などが定期的に会議を開催し、情報共有や、研修など地域啓発に取り組んでいます。

【これまでの主な取組】

- ・研修(主催:廿日市市、共催:はつかいち福祉ねっと)
 - 「障がいがあっても元気でいられる」(平成28年度)
 - 「高次脳機能障害ってどんなこと?」(平成28年度)
 - 「発達障害のある人・家族の気持ちと支援のあり方」(平成28年度)
 - 「あなたの知らないお酒の世界」(平成29年度)
 - 「高次脳障がい者のための知っておきたいエピソード」(平成29年度)
 - 「発達障がい児・者への援助と利用」(平成29年度)
- ・おりづる出前教室(平成23年度～)
- ・当事者主体の地域交流事業
 - 備北丘陵公園(平成26年度)
 - 安佐動物公園(平成27年度)
 - 尾道千光寺公園日帰り旅行(平成28年度)
 - みんなで作った餃子をみんなで食べる!!お食事会(平成29年度)
- ・第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成26年度)

【構成団体】

- ①精神障害者家族会さくら会
- ②精神障害者家族会こぶし会
- ③大野精神障害者家族会あいあい
- ④高次脳機能障害家族会「シェイキングハンズ」廿日市地区会
- ⑤さくら作業所
- ⑥あいあい作業所
- ⑦友和病院
- ⑧訪問看護ステーションゆうわ
- ⑨訪問看護ステーションこころ一れ廿日市
- ⑩エスペランサ
- ⑪にじのえき
- ⑫コーヒーショップあんず
- ⑬ハナミズキ
- ⑭さくら相談支援事業所
- ⑮相談支援事業所エスペランサ
- ⑯広島県西部保健所
- ⑰市社会福祉協議会

【平成30年度 取組計画】

- ①精神障がいに対する理解と啓発
- ②高次脳機能障がいに関する理解と啓発
- ③ボランティア養成講座の実施
- ④おりづる出前教室
- ⑤交流企画
- ⑥第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画推進

【平成30年度 取組報告】

おりづる出前教室を佐伯地域で開催し、レクリエーションスポーツなどの体験とゆったり体操を行いました。

講演会は、障害福祉課と内容などを一緒に検討し、「発達障がい」、「高次脳機能障がい」、「精神疾患」の3回を企画しました。

交流企画では、事前に作業所の利用者とも話し合い、今回はバスを借りて温井ダムへ総勢56人で行きました。みんなで昼食を取った後、〇×クイズのレクリエーションをし、温井ダムの見学を行いました。

定例会では、その他にも「精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム」などについても意見交換を行いました。



交流企画



講演会
「発達障がい児・者への
援助と医療」



おりづる出前教室

こども部会

【目的など】

子どもたちが明るく楽しく生きていけるよう、保護者団体で課題を共有し、行政、関係団体とも連携しながら課題解決に向けた話し合いや取組を行うことを目的としています。主な活動として、余暇活動の充実のための保護者企画や地域とのつながりづくりのための取組、情報交換、学習会等を行っており、これらの活動を通して、団体間の親睦を深めています。

【構成団体】

①みんなのつながりを豊かにしたい会②広島県立廿日市特別支援学校PTA③たーとる(肢体不自由児の会)④くれよん保護者会オレンジクラブ⑤さいき障がい児と親の会「みかん」⑥よしわ障がい児と親の会「つぼみ」⑦広島自閉症協会⑧スイミー⑨ちょうちょ⑩きょうだい支援の会SIBLINGS⑪ぷれじゅーる⑫廿日市市難病患者こども会

【これまでの主な取組】

- ・「リーフレット「なってください!サポーターに」作成(知的障がい部会と共同)(平成20年度)
- ・「サポートファイル学習会」(平成21、22年度)
- ・「夏休み・留守家庭児童会アンケート」実施(放課後・長期休暇ワーキングと共同)(平成22年度)
- ・“地域とのつながりづくり”アンケート(平成23年度～)
- ・「冬の宮島親子スタンプラリー」(平成24年度)
- ・「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」(権利擁護部会と共催)(平成25年度)
- ・おりづる出前教室「レクスポ」(平成23～28年度)
- ・夏休み工作教室(平成25年度～)
- ・学習会「障がい児者のきょうだいについて」(平成27年度)
- ・“障害福祉サービス”等のべんり帖～こどもバージョン～作成(平成28年度)
- ・スポーツ吹矢づくり&体験(平成28、29年度)
- ・こども部会アンケート(平成29年度)

【平成30年度 取組計画】

- ①夏休み工作教室(友和の里と共催)
- ②地域とのつながりづくりアンケート
- ③“障害福祉サービス”等のべんり帖～こどもバージョン～改訂、配布
- ④ブログ・LINEを活用した情報発信(団体に所属されていない保護者とのつながりづくり)
- ⑤こども部会アンケート集計・分析
- ⑥第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画推進

【平成30年度 取組報告】

例年より取組を減らし、「平成29年度に実施した“こども部会アンケート”の集計と分析を丁寧に行い、今後のこども部会のあり方を考える年度にしよう」と決めてスタートさせた1年でした。

“こども部会アンケート”の集計結果から新たな課題やニーズを把握し、こども部会でできること等について検討することができました。また、第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画のPDCAに反映させることで、毎年、課題やニーズに対する廿日市市全体の取組状況の確認を行うことができるようになりました。

恒例となっている夏休み工作教室(友和の里と共催)では、友和の里を会場に「収納棚初級編」、グループホームゆうわを会場に「収納棚中級編」を行いました。参加した子どもたちは、初めて使う電動工具にドキドキしながら、木の裁断や組立を行い、立派な棚を完成させることができました。

“地域とのつながりづくりアンケート”、ブログ・LINEを活用した情報発信も継続して行いました。



夏休み工作教室



“障害福祉サービス”等のべんり帖
～こどもバージョン～

わかりやすい情報部会 わかりやすい情報発信プロジェクト

【目的など】

障がいのある方に制度や地域生活を送るために役立つ情報を発信していくことを目的としています。わかりやすい情報提供の方法の検討とともに、はつかいち福祉ねっとの取組を広く知っていただくことにも取り組みます。

【構成団体】

- ①はつかいち福祉ねっと有志
- ②市社会福祉協議会

【これまでの主な取組】

- ・福祉サービスガイドブック作成(平成20年度)
福祉サービスガイドブック改訂(平成24年度～)
- ・事業所紹介DVD作成(平成20年度)
(協力:廿日市市市民活動センター)
- ・はつかいち福祉ねっと通信発行(平成20年度～)
- ・事業所一覧の作成・更新(平成21年度～)
- ・ホームページ開設・更新(平成22年度～)

【平成30年度 取組計画】

- ①はつかいち福祉ねっと通信発行
- ②事業所リスト・サービスガイドブックなど、最新の情報を提供
- ③ホームページ等を活用した情報発信

【平成30年度 取組報告】

事業所一覧の更新、ホームページ等を活用した情報発信を行いました。サービスガイドブックについては、改訂内容について検討しました。

事業所一覧は、7月の全体会に合わせて内容の更新を行いました。

年4回発行している「はつかいち福祉ねっと通信」は、福祉ねっと関係者以外にも、はつかいち福祉ねっとの活動を知っていただけるよう、廿日市市内の市民センター、保育園等への配布を継続しました。

ホームページについては、音声読み上げソフトによる情報検索がスムーズにできるよう、レイアウトを検討しました。また、記事内容等の改善のため入力フォーマットを作成し、各部会の記事を更新しました。

新たな情報配信方法の検討とネット活用講座については実施することができなかったため、次年度以降に検討したいと思っております。



わかりやすい情報部会 手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト

【目的など】

市が制定する手話言語及びコミュニケーションに関する条例について、より多くの人からの意見を反映するためにプロジェクトを設置し協議していくことを目的としています。

【構成団体】

①佐伯地区ろうあ協会②視覚障害者の会「椿会」③廿日市市障害者団体連絡会④日本頸椎損傷 LifeNet⑤広島県難聴者・中途失聴者団体連絡会⑥障害者施設・原家族会⑦くさのみ福祉会⑧高次脳機能障害家族会「シェイキングハンズ」廿日市地区会⑨にじのえき⑩スイミー⑪ふれじゅーる⑫廿日市市手話通訳者連絡協議会⑬廿日市市要約筆記サークルやじろべえ⑭市社会福祉協議会⑮学校教育課



【平成30年度 取組報告】

本プロジェクトは、市の条例制定に向けて、障がいのある人や家族、関係者の声を聴きながら取組を進めたいという市の意向を受けて平成29年11月に新設しました。

みなさんから条例に対する色々な意見をいただきながら検討を進め、6月の廿日市市議会定例会で「廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」が可決され、7月1日から施行されました。

条例制定後も継続し様々な取組を行っています。「多様なコミュニケーションを学ぶ手話等体験研修(市の職員研修)」では、市の職員対象に障がいのある人からの体験談や体験学習などに協力しました。「人権フェスタ2018～障がいのある人もない人も一緒にコミュニケーション～」では、「障がいのある人や家族からのリレートーク」で6人が登壇し、「コミュニケーションの方法」、「障がいの特性」や「生活のしづらさ」などについて話をさせていただきました。「パンフレットの作成(一般版、わかりやすい版)」では、内容やレイアウトなどについて協議をしました。

今後は、学校などでの啓発に向けて検討していくこととしています。



市の職員研修
手話教室



人権フェスタ2018
リレートーク



条例のパンフレットはこちらからダウンロードできます。

<https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/soshiki/34/37898.html>



就労支援部会 福祉就労ワーキング

【目的など】

福祉サービス事業所の連携による仕事づくりや販路拡大による工賃アップ、働く場づくり、そして日中活動の充実をめざして活動しています。

【これまでの主な取組】

- ・ワーキングの中で各事業所の現状報告をしながらの情報共有
- ・事業所商品のPR
 - ①事業所商品のカタログを作成し、イベントなどの景品として使用してもらう。
 - ②カタログについては市のホームページに掲載中
 - ③市役所ロビーショーケースでの展示
- ・協働して取り組める仕事の開拓
 - ①商工はつかいちの封入作業
 - ②アンケートのデータ入力作業
 - ③その他の内職作業、etc
- ・販路などの拡充に向けての取組
 - ①販路開拓のために宮島で事業所商品の見本市を実施
 - ②info.表参道での常設販売
 - ③市役所ロビー常設販売開始

【構成団体】

①くさのみ作業所②ピクトハウス③夢工房④にじのえき⑤コーヒーショップあんず⑥さくら作業所⑦ハナミズキ⑧あいあい作業所⑨アダージョ⑩障害者支援施設原⑪広島ひかり園⑫大野ふれあい生活介護事業所⑬友和の里⑭多機能事業所ばすてる⑮Hana と花舎⑯リパティ―はつかいち⑰あおぞら⑱あうるワークスペース⑲清風会みやじま

【平成30年度 取組計画】

- ①各事業所の取組情報の共有(継続)
- ②“障害者週間”に向けての取組(継続)
- ③商品カタログの更新(継続)
- ④協働で行えるプロジェクトの実施及び進捗状況の確認(継続)

【平成30年度 取組報告】

隔月開催のワーキングで各事業所の仕事内容や取組み等について情報共有を行いました。協働の取組みとしては「商工はつかいちの封入作業」、「市役所からのアンケートのデータ入力」、「市役所ロビーショーケース展示」、「市役所ロビー・大野文化ゾーン販売」、「info.表参道委託販売」、「全体会販売」、「“障害者週間”啓発イベントへの参加」などを継続して行いました。

また、今年度新たに「広島在宅ワーク支援センター」の代表をお招きし、内職の紹介をしていただき、1事業所が作業をスタートしました。

市障害福祉課からコミュニケーションボードの作成依頼を受け希望事業所を募った結果、希望があった2つの事業所が作成に取り組んでいます。

“障害者週間”啓発イベントでは、事業所製品の販売と各事業所の紹介をパネル展示しました。

市役所1階に平成30年2月にオープンしたでは、ニューヤマザキデイリーストアー廿日市市役所売店ではご厚意により、市内事業所製品(6事業所)の委託販売をはじめることができました。市役所ロビー販売と合わせてよろしく申し上げます。



市役所ロビー
ショーケース



会議の様子



info 表参道

就労支援部会 特別支援学校進路ワーキング

【目的など】

「特別支援学校卒業生の就労の場が不足している」という課題の解決に向けて協議検討するとともに、各事業所・特別支援学校（廿日市市在住の生徒が在籍する市外特別支援学校も含む）の情報共有や廿日市特別支援学校卒業予定者の進路調整を行うことを目的にしています。

【これまでの主な取組】

- ・学校の卒業生見込み数と事業所の受け入れ見込み把握（平成21年度）
- ・廿日市市外の特別支援学校も参加（夏休み期間中1回）スタート（平成23年度～）
- ・特別支援学校卒業生等にかかる就労継続支援B型の利用取扱い等について調整（平成25年度）

【構成団体】

- ①広島県立廿日市特別支援学校②ハローワーク廿日市③広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ

（夏休み期間中：くさのみ作業所、ピクトハウス、夢工房、コーヒーショップあんず、アダージョ、大野ふれあい生活介護事業所、友和の里通所部、ぱすてる、ぱすてる大野原・ぱすてる大野原クリーニング、Hanaと花舎、あおぞら、あうるワークスペース、にじのえき、さくら作業所、ハナミズキ、障害者支援施設原、就労継続支援事業所原、広島ひかり園、あいあい作業所、ハートフルあまの、リパティ―はつかいち、清風会みやじま、障害児相談支援事業所PIECE 宮園、相談支援事業所くさのみ、相談支援事業所あおぞら、相談支援事業所そら、相談支援事業所いっぽ、相談支援事業所原、相談支援事業所広島ひかり園、相談支援事業所友和の里、さくら相談支援事業所、あうるサポートセンター、相談支援事業所エスペランサ、市外特別支援学校）

【平成30年度 取組計画】

特別支援学校と進路先関係者等による情報共有（年4回）

※夏休み期間中ワーキング（2部構成）

前半：廿日市特別支援学校、市外特別支援学校にご参加いただき、市内福祉事業所の情報共有

後半：廿日市特別支援学校卒業予定者について廿日市特別支援学校と事業所でケース共有

【平成30年度 取組報告】

年4回のワーキングを開催しました。

夏休みのワーキングでは、新たに相談支援事業所にも参加していただき、前半に各事業所の次年度受け入れ予定などの情報共有、後半に廿日市特別支援学校と関係する事業所・機関で進路調整を行いました。

以前から課題となっていた「卒業後の就労継続支援B型利用に必要なアセスメントの負担」に対しては、市内の就労移行支援事業所休止に伴い、「夏休み期間中の就労移行支援事業所でのアセスメント」から「隣市の就労移行支援事業所による学校内（作業学習等）でのアセスメント」というスタイルに変更したことで、生徒本人、保護者の負担軽減につながりました。

すぐに解決が難しい課題もありますが、ワーキングで共有することで、関係機関同士の連携が進んでいます。



夏休みワーキング



特別支援学校進路ワーキング

発達支援部会

【目的など】

ライフステージを通して、切れ目ない発達支援ができるような体制整備に向けた検討を行うことを目的にしています。

【これまでの主な取組】

- ・社会資源(保育・教育・福祉)、相談支援の現状整理(平成20年度)
- ・サポートファイルの普及啓発
→関係者会議、モニター実施(平成21年度)
→「サポートファイル学習会」(こども部会・知的障がい部会と共同)(平成22年度)
→「サポートファイル支援者向け学習会」(平成25年度)
→「サポートファイル活用に関する調整会議」(児童発達支援事業所)(平成26年度)
- ・「発達障害児市町支援体制推進事業サポート会議」(平成23年度)
- ・「広島県発達障害市町サポートコーチ事業」利用(平成24年度)
- ・発達障がいのある人のための窓口紹介リーフレット「ポジティブライフガイド」作成(平成24年度)→配布(平成25年度～)
- ・学習会「発達障がいの基礎知識」(平成24年度)
- ・障がい児支援関係事業所連絡会の開催(平成28年度～)

【構成団体】

- ①広島西こども発達支援センターくれよん
- ②市教育委員会
- ③市子育て応援室
- ④市こども課
- ⑤市障害福祉課
- ⑥きらりあ

【平成30年度 取組計画】

- ①ポジティブライフガイドの配布
- ②サポートファイルの普及・啓発
- ③障がい児支援関係事業所連絡会の開催
- ④ペアレントメンターの検討

【平成30年度 取組報告】

今年度は、部会を3回開催し、「ペアレントメンター」「教育と福祉の連携」についての協議等を行いました。

また、情報交換や支援者の質の向上等を目的とし、年3回定期開催している障がい児支援関係事業所連絡会(対象:児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、障害児相談支援事業所、児童養護施設、母子生活支援施設等)では、毎回、行政報告や事業所紹介、研修(※)を行っています。

乳幼児健診を中心にポジティブライフガイドの配布も継続しています。

※平成30年度の研修内容

「廿日市市の児童・生徒の不登校について」講師:学校教育課 指導主事 秋本豪さん、
「子どもの特性から支援を考える～特別支援教育は科学だ～」講師:学校教育課 特別支援教育コーディネーター 山田充さん、「発達障がい児・者への支援～ある一考察から～」講師:安芸ソーシャルサポートの会 代表理事 日比正規さん



部会の様子

障がい児支援関係事業所連絡会

「ポジティブライフガイド」

平成22年度～23年度にかけて実施された、広島県発達障害児市町支援体制推進事業において、「本市は、発達障がいに関する相談窓口が不明確である」という課題が指摘されたことを受けて、ライフステージにおける発達支援部会で協議検討し、平成24年度広島県発達障害市町サポートコーチ事業を活用して作成した「発達障がいのある人の相談窓口リーフレット」です。内容は毎年改訂し、最新版を配布しています。



地域生活支援部会 長期入院解消プロジェクト

【目的など】

精神科病院に長期入院されている人が、地域生活を送ることができるような仕組みづくりについて検討を行ったり、すでに地域で生活を送っている人たちが、より良い生活が送れるよう、社会資源の開拓などをしていくことを目的としています。

【構成団体】

- ①友和病院②エスペランサ③相談支援事業所エスペランサ
- ④さくら相談支援事業所⑤さくら作業所⑥広島県西部保健所
- ⑦市障害福祉課

【これまでの主な取組】

- ・研修
 「“地域で暮らしたい”をサポートするために」(平成22年度)
 「病院の退院についての取り組みを学ぶ」(平成25年度)
- ・市が実施した長期入院されている人へのアンケートに協力(平成26年度)
- ・院内茶話会の実施(平成27年度～)

【平成30年度 取組計画】

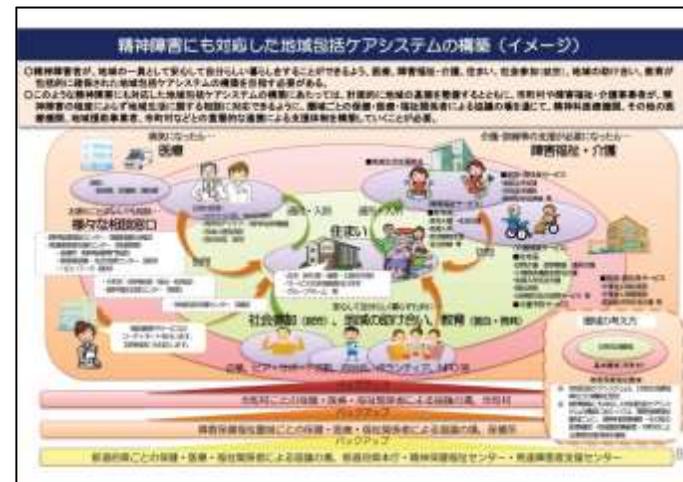
- ①精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの体制整備に関する情報共有

【平成30年度 取組報告】

広島西障害保健福祉圏域では、「精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム」について協議の場を設置することとなっており、その状況について精神障がい部会で情報共有を行った。



院内茶話会
グループワークの様子



厚生労働省資料より

地域生活支援部会 余暇活動支援ワーキング

【目的など】

障がいのある人たちの余暇活動の充実を目的にしています。
当初は、障がいのある子どもたちの放課後長期休暇中の課題（居場所づくり等）解決のために立ち上げたワーキングでしたが、子どもたちの社会資源が増えてきたため、現ワーキングへと移行しました。

【構成団体】

- ①さくら相談支援事業所②あうるワークスペース③はつかいち福祉ねっと有志
- ④市社会福祉協議会

【平成30年度 取組計画】

- ①ななうら丸 de クルージング
- ②「みんなの交通安全教室&広島県警察音楽隊コンサート」
- ③カローリング交流会

【これまでの主な取組】

- ・関係事業所情報交換会（平成25年度）
- ・放課後長期休暇スキルアップ研修（平成25年度）
- ・障がい者スポーツ体験会（平成26年度～）
- ・カローリング交流会（平成26年度～）
- ・クルージング（協力：JR西日本フェリー）企画（平成27年度～※平成25～26年度は事務局）
- ・「みんなの交通安全教室&広島県警察音楽隊演奏」（平成28年度～）

放課後長期休暇ワーキング（平成20～24年度）

- ・社会資源整理
- ・放課後長期休暇ニーズ調査（平成20、21年度）
- ・長期休暇オープンスペース（平成22～24年度）
- ・おりづる講習会（支援者対象）（平成23年度）
- ・関係事業所情報交換会（平成20～24年度）



カローリング交流会



ななうら丸 de クルージング
手作り感謝状贈呈

【平成30年度 取組報告】

6回目となるクルージング（協力：JR西日本宮島フェリー）企画では、“ななうら丸”で昨年と同様、呉に行きました。船内では福祉ねっと有志等による呉の観光案内、島ガイドを聞きながらゆっくり過ごすことができました。呉では食事や散策を楽しみ、総勢150人のクルージングは、大成功でした。

「第5回カローリング交流会（2月9日（土））」は、今年度もサンチェリーメインアリーナを会場に開催しました。当日は、28チーム約90人の選手のみなさんが熱のこもったゲームを展開し、どのレーンでも最後には勝ち負けに関係なく、お互いをたたえ合う清々しい光景が広がっていました。共催いただいた“きょうだい支援の会 SIBLINGS”さん、運営にご協力いただいたスポーツ推進委員のみなさん、そして、協賛いただいた（株）やまだ屋さん、サントリー（株）さんには心よりの感謝を申し上げたいと思います。

さくらびあ大ホールにて開催した「みんなの交通安全教室&広島県警察音楽隊コンサート（3月2日（土））」には、小さなお子様からご高齢の方まで約400名の方にご来場いただき、会場は大いに盛り上がりました。交通安全教室では、広島・宮島のご当地ヒーローミヤジマックスと麻亜沙が出題するクイズを会場のみなさんに回答してもらい、廿日市警察署交通課満井さんから分かりやすく解説をしていただきました。広島県警察音楽隊の迫力あるコンサートでは、会場がとても華やかな空気に包まれ、あっという間のひとときでした。

地域生活支援部会 訪問介護事業所連絡会

【目的など】

「事業所同士の横のつながりが持てる機会があれば」の声で立ち上がった連絡会です。学習、情報交換、情報共有を通し、個々のスキルと地域力UPをめざしています。連絡会でのつながりが現場の支援に役立っています。

【構成団体】

①ヘルパーステーションふれあい②訪問介護事業所第2清鈴園③あうる介護サービスセンター④ニチケアセンター廿日市⑤サンキ・ウエルビィ介護センター廿日市⑥ヘルパーステーションケーアイ⑦コアラ訪問介護事業所⑧土谷ヘルパーステーション阿品⑨オムエルヘルパーステーション⑩もみじケア訪問介護事業所⑪(株)アッシュ⑫生協ひろしま介護サービス・廿日市⑬廿日市市社会福祉協議会訪問介護センター⑭ヘルパーステーションあすか⑮エコール在宅介護ステーション廿日市⑯訪問介護事業所なな

【これまでの主な取組】

- ・講演会「気分障害について」(平成22年度)
- ・広島県障害者地域移行促進強化事業
「ヘルパーさんのための精神保健福祉講座」(平成23年度)
- ・研修会「障がいのある人への対応～思春期をむかえるにあたって～」(平成26年度)
- ・研修会「発達障害の心のケアーヘルパーや支援者がしていいこと、してはいけないことー」(平成27年度)
- ・講演会「障害児を持つ保護者の気持ちを理解するために」(平成28年度)
- ・なちゅは介護セミナー(平成24、25年度)
- ・リハビリテーションケアセミナー(平成27年度)
- ・介護技術向上研修(平成28、29年度)
- ・救命講習(平成24、25、27、28、29年度)
- ・利用者・ヘルパー交流企画(平成24年度～平成27年度)
- ・長期休暇オープンスペース(平成25年度～平成27年度)
- ・第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成26年度)

【平成30年度 取組計画】

ヘルパーのスキルアップのための研修

- ・救命講習
- ・介護技術研修
- ・講演会
- ・制度学習会

【平成30年度 取組報告】

救命救急講習を開催し、廿日市消防署の方から心肺蘇生やAED使用方法、異物除去法など業務中のいざという時あわてず活用できるような救命方法を中心に指導を受けました。

広島県地域医療介護総合確保事業を活用した「介護技術向上研修」(講師:NPO法人リハケアリングネットワーク)も開催しました。今回は「『その人らしい暮らし』を支援するためには」というテーマで講演いただき、介護技術やヘルパーの心得等の理解を深めることができました。

市障害福祉課職員さんを講師に、制度説明会も開催しました。日頃の業務で感じる疑問や課題について、みんなで質問や意見を出し合いひとつずつ整理をしていきました。今後も、疑問に思うことはお互いに確認し合い、共有の認識のもと業務にあたりたいと思います。



介護技術向上研修



救急救命講習

地域生活支援部会 防災プロジェクト

【目的など】

当事者や家族、関係機関と連携しながら防災や減災について学習会などを行っていきます。

また、防災などを通じて地域との連携などについても取り組んでいけるよう検討します。

【これまでの主な取組】

- ・防災に関するアンケートを当事者団体や事業所やの協力をえながら実施し集約する。
- ・研修
「災害に備え、今から、やっておくこと」
～防災を切り口に新しい福祉の形を創り出そう～(平成23年度)
- ・障がい別会議合同避難訓練(あいプラザ)(平成27年度～)

【構成団体】

- ①市危機管理課②市福祉総務課③市障害福祉課④市社会福祉協議会⑤きらりあ

【平成30年度 取組計画】

- ①障がい別会議合同避難訓練(あいプラザ)
- ②はつかいち福祉ねっとでの今後の防災に関する取組の検討

【平成30年度 取組報告】

9月14日(金)のあいプラザ消防訓練に、障がい別会議のみなさん(51人)で参加しました。当日は、避難誘導班の指示に従いながら、階段、スロープを使い、無事避難を終えた後に、「水消火器での消火体験」「煙幕体験」「オリロー(避難器具)での避難体験」を行いました。

また、プロジェクトの運営体制見直しということで、市危機管理課、市福祉総務課、市障害福祉課、市社会福祉協議会、きらりあを構成メンバーとしたプロジェクトを1月29日(火)に開催し、避難行動要支援者避難支援制度、福祉避難所、緊急時連絡票(地域生活支援システム)などを絡めた、障がいのある人たちの避難支援体制に関する検討をスタートさせました。



あいプラザ消防訓練の様子

地域生活支援部会 地域生活支援システムプロジェクト

【目的など】

国が示した「地域生活支援拠点」を整備するため、本市に必要な地域生活支援システムのあり方等を検討し、「障がいのある人が、地域で安心して暮らし続けることができる仕組み」をつくることを目的としています

【これまでの主な取組】

- ・プロジェクト、ワーキングによる「廿日市市地域生活支援システム」に関する協議検討(平成28年度～)
- ・「夜間・休日等における緊急時の受け入れ・対応アンケート」(平成28年度)
- ・地域生活支援システムの構築・整備に係る事例研修会～広島県・はつかいち福祉ねっと共催～(平成28年度)

【構成団体】

- ①廿日市市障害者団体連絡会②視覚障害者の会「椿会」③佐伯地区ろうあ協会廿日市支部④日本頸髄損傷LifeNet⑤障害者施設・原家族会⑥高次脳機能障害家族会「シェイキングハンズ」廿日市地区会⑦スイミー⑧みんなのつながりを豊かにしたい会⑨広島ひかり園⑩友和の里⑪くさのみ作業所⑫さくら作業所⑬友和病院⑭エスペランサ⑮特定相談支援事業所広島ひかり園⑯相談支援事業所いっぽ⑰相談支援事業所エスペランサ⑱相談支援事業所あおぞら⑲もみじケア訪問介護事業所⑳あうる訪問介護サービスセンター(参加事業者調整会議:20法人)

【平成30年度 取組計画】

- ①地域生活支援システム運用による課題整理、改善実施
- ②参加事業者調整会議の開催
- ③他市町からの情報収集

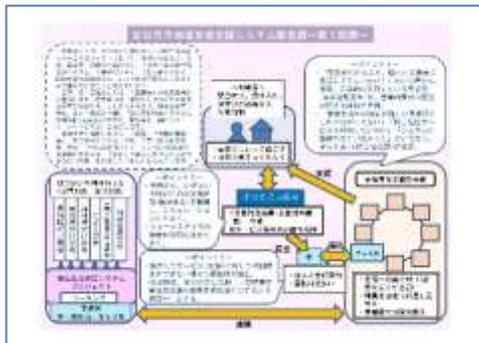
【平成30年度 取組報告】

平成29年度1年間のプロジェクトや事業者調整会議での協議・検討から、6月に廿日市市地域生活支援システム緊急時受入等事業がスタートしました。

本プロジェクト(22人)では、「参加事業者調整会議(5月11日:20人)」でシステムに係る最終調整を行い、「プロジェクト・参加事業者調整会議合同会議(12月26日)」では、その後の進捗・課題等を共有しました。

多くの人たちと協議を重ねながらつくり上げてきた本市の取組は、県内外の市町等から関心を寄せていただき、様々な場面で取組紹介を行いました。(尾道市視察受入(5月2日)、安芸高田市(5月22日)、竹原市(7月10日)、広島県障害者支援施設セミナー(10月12日)、相談支援従事者(初任者)研修(10月18日)、都道府県ブロック会議(10月22日)、きらっと光る人生を考える研究大会(12月15日)、『共生社会をめざして』自立支援協議会担当者(関係者)のための研修会<自治体職員対象>(1月24日))

その他、プロジェクトメンバーや事務局職員から他市町の取組状況を照会したり、それぞれが参加した研修会等の情報を共有するなどして、他市町の取組や最新の情勢等に関する情報共有に努めました。



概念図



参加事業者調整会議の様子



プロジェクト・参加事業者調整会議 合同会議の様子

相談支援部会

【目的など】

障がい福祉サービス等の利用者全員に作成することとなった「サービス等利用計画(障がい児支援利用計画)」の提供体制整備及び相談支援専門員の資質向上を目的としています。

【構成団体】

①相談支援事業所原②さくら相談支援事業所③指定特定相談支援事業所広島ひかり園④相談支援事業所そら⑤障害児相談支援事業所PIECE宮園⑥相談支援事業所くさのみ⑦あうるサポートセンター⑧相談支援事業所いっぽ⑨相談支援事業所あおぞら⑩特定相談支援事業所友和の里⑪相談支援事業所エスペランサ⑫一般社団法人青少年自立支援フォーラム子ども発達支援室⑬ライフプランナーKIZUNA⑭アマノリハビリテーション病院⑮生協ひろしま介護サービス・廿日市⑯多機能事業所ぱすてる⑰スプリングコート⑱ウィルサポキッズ廿日市SSTs⑲Pier草津南KANAL廿日市事業所⑳障がい者生活介護事業所「おおの(仮)」

【これまでの主な取組】

- ・サービス等利用計画作成に関する講演会、演習等(平成24年度～)
- ・事業所間情報交換(平成24年度～)
- ・調査活動(タイムスタディ)(平成25年度)
- ・オリジナル資料作成(虎の巻、計画相談に関する疑問と整理(Q&A)、相談支援専門員一覧)(平成24年度～)
- ・事業所紹介(平成24年度～)
- ・Dropbox活用による情報共有(平成24年度～)
- ・事業所見学ツアー、事業所情報シート作成(平成26年度～)
- ・第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成26年度～)
- ・サービス等利用計画作成に関する課題整理と解決方法検討のための実態調査実施(平成27年度)
- ・サービス管理責任者と相談支援専門員合同研修会(平成27、28年度)
- ・事例報告(平成29年度～)

【平成30年度 取組計画】

- ①相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上のための取組
 - ・各種情報共有
 - ・「学習コーナー(定例部会内)」での学習(制度、計画作成など)
 - ・「グループワーク(定例部会内)」による事業所間の情報共有
 - ・「事例報告(定例部会内)」
 - ・事業所見学ツアー&事業所情報リスト作成
- ②新たな相談支援事業所参入に向けた取組
部会へのオブザーバー参加受け入れ、Dropboxによる情報共有で新規参入事業所等へのフォロー

【平成30年度 取組報告】

毎月定例会を開催し、相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上、事業所間の情報共有・連携をはかっています。今年度は、「報酬改定」や「地域生活支援システム」に関連した学習やグループワークに力を入れてきました。地域生活支援システムスタートに向け、相談支援専門員の役割の確認や「緊急時連絡票」様式の作成など取り組みました。



部会の様子

学習・啓発部会 権利擁護ワーキング

【目的など】

権利擁護に関する研修会開催を中心に、はつかいち福祉ねっと全体の権利擁護意識を高めることを目的に取り組んでいます。

【これまでの主な取組】

権利擁護

- ・研修 講師：谷川ひとみさん（平成21年度）
講師：大元誠司さん、平山圭紀さん（平成26年度）

成年後見制度

- ・研修 講師：谷川ひとみさん（平成23年度 こども部会共催）
講師：谷川ひとみさん（平成24年度 精神障がい部会共催）
講師：谷川ひとみさん（平成25・26年度）

虐待防止

- ・研修 講師：田中清美さん（平成24年度）
講師：森木聡人さん（平成25年度）
講師：中島康晴さん（平成28年度）

障害者差別解消法

- ・研修 講師：横藤田誠さん（平成27年度）
講師：又村あおいさん（平成28年度）
講師：横藤田誠さん（平成29年度）

その他

- ・部会内部研修「事例検討におけるスーパービジョン」（講師：木村雅昭さん）（平成22年度）
- ・研修「自己評価について」（平成23年度 講師：井上予志栄さん）（平成23年度）
- ・研修「支援者（保護者）が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」（講師：松原智治さん、山下千絵さん）（平成25年度 児童部会共催）
- ・研修「私らしく自己決定」（講師：広瀬未姫さん）（平成29年度）

【構成団体】

- ①廿日市市障害者団体連絡会②広島県難聴者・中途失聴者団体連絡会廿日市支部③障害者施設・原家族会④虹の会⑤おのおの手をつなぐ育成会⑥相談支援事業所エスペランサ⑦スイミー⑧さくら作業所⑨エスペランサ⑩サンキ・ウエルビー介護センター廿日市⑪ヘルパーステーションケーアイ⑫くさのみ作業所⑬広島西医療センター⑭市社会福祉協議会

【平成30年度 取組計画】

- ・ワーキングの再編成
- ・研修会開催（はつかいち福祉ねっとのみなさん対象）
- ・合理的配慮に関する協議

【平成30年度 取組報告】

ワーキングメンバーの再編成を行ない、取組内容も「研修中心」から「障がい理解のための学習と啓発」へ少し幅を広げてみることにしました。

学習としては、研修『「不当な差別的取扱いの禁止と合理的配慮の提供」～障害者権利条約の示したもの～』（講師：河口幸貴さん）を開催し、福祉ねっとのみなさんはじめ、廿日市市障がい者差別解消支援地域協議会の委員のみなさんにもご参加いただきました。

また、障がい理解の啓発につながればとの思いから、各障がい別会議で合理的配慮好事例の収集をはじめました。今後、みなさんから出された合理的配慮好事例をまとめ、啓発に活用していきたいと考えています。



ワーキングの様子



研修会の様子

学習・啓発部会 “障害者週間”ワーキング

【目的など】

障がい者福祉についての関心と理解を深めるために障害者週間に啓発活動を行います。



手話の体験教室

【構成団体】

①視覚障害者の会「椿会」②佐伯地区ろうあ協会廿日市支部③廿日市市障害者団体連絡会 ④全国障害者問題研究会廿日市サークル⑤廿日市市障害者福祉協会⑥広島ひかり園⑦あいあい作業所⑧コーヒーショップあんず⑨ピクトハウス⑩くさのみ作業所

【平成30年度 取組計画】

①障害者週間での取り組み、啓発活動
(障がい別会議+福祉就労ワーキング)

【平成30年度 取組報告】

12月8日(土)にゆめタウン廿日市にて“障害者週間”啓発イベントを開催しました。1階の化粧品コーナー前では事業所の製品販売、手話の体験教室、ロービジョン体験を行い、2階の市民ホールでは事業所紹介のパネル展示、製品や作品の展示、ヘルプマークの紹介、あいサポート運動DVD上映、喫茶コーナーを行いました。

障がい別会議、福祉就労ワーキング、ボランティアのみなさんなど、多くの方の協力で無事終わることができました。

このイベントに対し、カルビー(株)さんからは協賛品をいただきました。



1階フロアスペース



2階市民ホール

学習・啓発部会 “発達障害啓発週間” ワーキング

【目的など】

発達障がいについての関心と理解を深めるために世界自閉症啓発デー、発達障害啓発週間に啓発活動を行います。

【構成団体】

①廿日市市障害者団体連絡会②廿日市市障害者福祉協会③ふれじゅーる④大野ふれあい生活介護事業所⑤あおぞら⑥あうるワークスペース⑦こどもひろばういず⑧放課後等デイサービスつなぐ

【平成30年度 取組計画】

①“発達障害啓発週間”(世界自閉症啓発デー)でのブルーライト企画

【平成30年度 取組報告】

“発達障害啓発週間”(4月2日～8日)に向け、ワーキングメンバーを募集したところ8団体・事業所から応募がありました。

みんなで色々な意見を出し合い、啓発の取組として、新宮中央公園でのブルーライトアップや、はつかいち美術ギャラリー・市民ホール(はつかいち市民図書館)・あいプラザでの「はつかいち I(あい)アート展～“発達障害啓発週間”作品展～」を行うこととなりました。

協力しながら準備を進めた初めての試みは成功し、発達障がい啓発のための第一歩となりました。

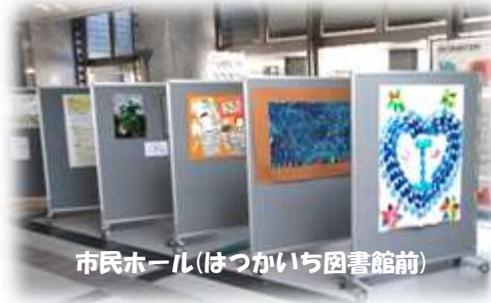
※自閉症・発達障がい啓発のシンボルカラーである“ブルー(青)”は、「癒し」や「希望」を意味し、全国各地でブルーライトアップが行われています。



手づくり横断幕・啓発ポスター・作品掲示



ブルーライトアップ(桜の木)



市民ホール(はつかいち図書館前)



あいプラザ



はつかいち I(あい)アート展～“発達障害啓発週間”作品展～



はつかいち美術ギャラリー



おりづる箱

あいプラザ(コーヒーショップあんず、廿日市市社会福祉協議会)の来館者や福祉ねっとの行事の参加者に折っていただいた青色の折り鶴は、啓発のための横断幕に使用させていただきました。